

「ソーラーシェアリング勉強会」を開催

静岡地域交流会より報告

12月15日、沼津市大手町会館において「ソーラーシェアリングの勉強会」を行いました。耳慣れない標題に皆さん来てくれるのか心配もありましたが、地方紙で宣伝したこともあり30名の会場はほぼ満席となりました。掛川市役所の方もいらっしゃっておいりました。講師としてお招きした都筑建理事長から太陽光発電の歴史と近況から始まり、この日の本題であるソーラーシェアリングの話を約1時間半いただきました。農業と太陽光発電の両立について、各地の実例をあげながら詳しく説明され、かつてなく解りやすかったとの感想も多く聞かれました。

後半は、参加者の中に実際に取り組んだ発電マンの岩堀社長や若い方2名お越しいただいていましたので、それぞれの事例報告をいただきました。今年7月から始め、役所に何度も足を運び、11月ようやく許可が下りたとの事です。県や市町の役人方々の頭は固く、それを変えるのに苦労したとのお話もありましたが、県内第1号ではないかとのことです。

藤井(和)理事からは、岩手県野田村だらすこ発電所への出資要請もあり、共同発電所とソーラーシェアリングの組み合わせなど、自然の恵み(エネルギー)を地元で活かすさらなる追求に向け、夢が膨らむ勉強会となりました。

その後は、忘年懇親会へ約半数が流れ、各自の近況報告と今後の抱負を語り合いました。

